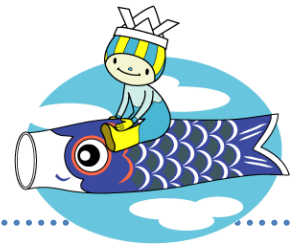


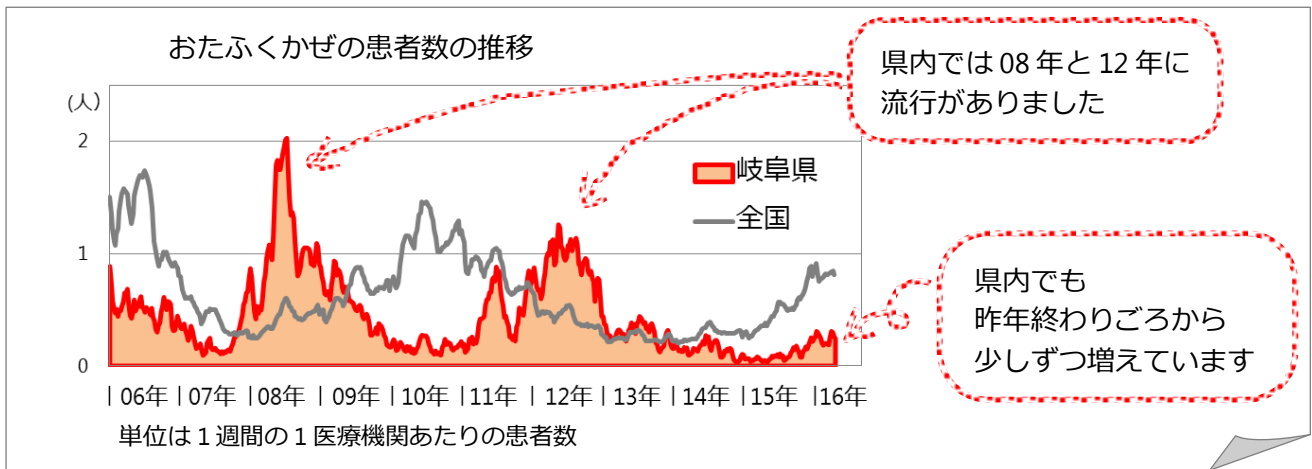
ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 4 月 28 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）に注意しましょう！

おたふくかぜは、国内では約 4 年ごとに流行をくり返しています。
全国的に、昨年から患者が増えており、流行の兆しがみられています。
岐阜県では、大きな流行はみられていませんが、今後の動きに注意しておきましょう。

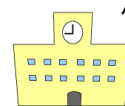


どんな病気？

ムンプスウイルスによる感染症で、10 歳未満のお子さんがかかりやすい病気です。
耳下腺（耳の下にあるだ液腺）の腫れ・痛みと発熱が主な症状です。

通常は 1~2 週間で回復しますが、重い合併症を起こすことがあります。
中でも**難聴**は、将来も障害が続くため、重要な合併症といわれています。

また、感染しても症状が出ない人が約 3 割いるとされています。



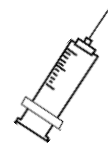
小学校や保育所で
集団感染をおこす
こともあります

どうやってうつるの？ 予防方法は？

主に咳やくしゃみのしぶきを吸い込むことによる**飛沫感染**でうつります。

感染力が強いため、**ワクチン**で予防するのが効果的です。

任意接種ですが、1 歳から接種することができますので
かかりつけ医とよく相談して、接種することも考えてみましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

